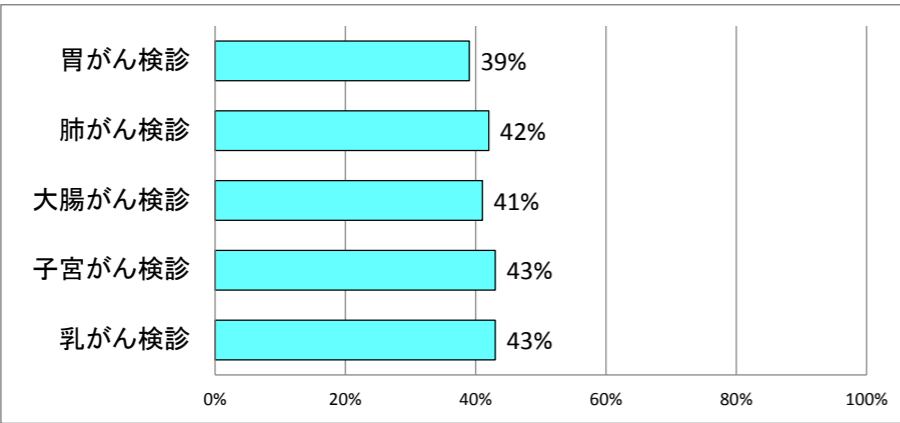
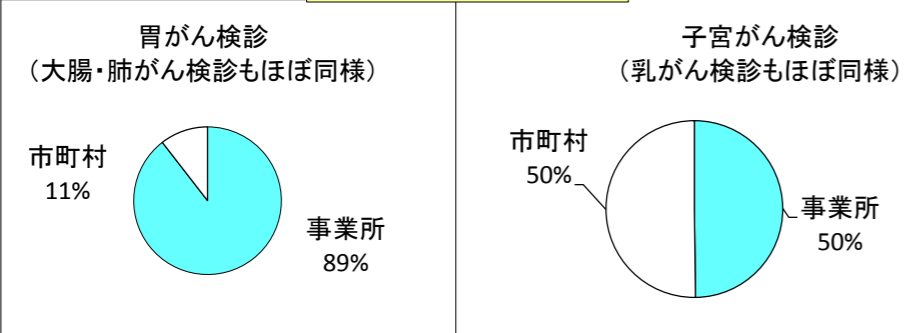


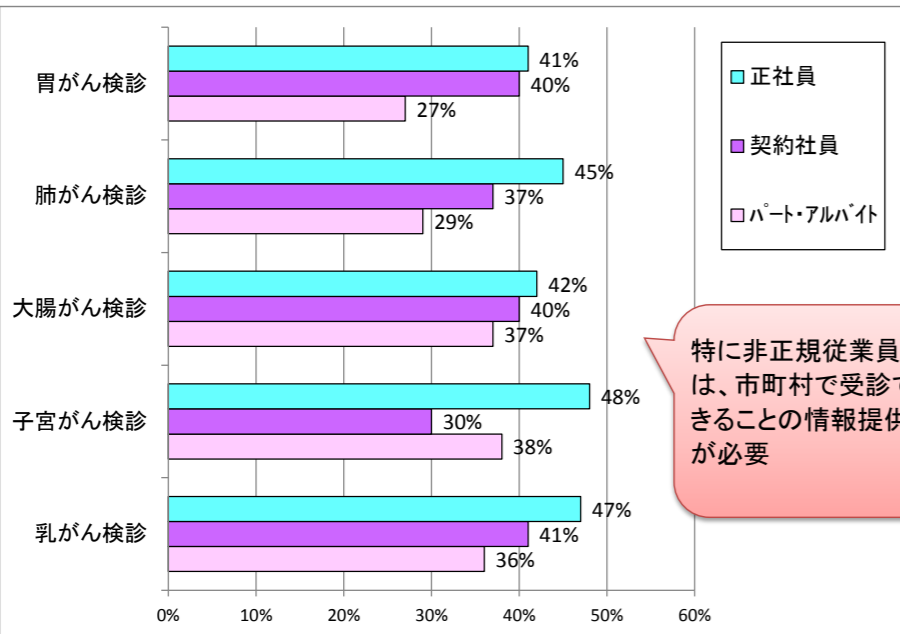
③従業員の受診率は、各がん検診とも約4割
 受診場所でみると、胃・肺・大腸がん検診は9割が事業所(商工会・協会けんぽを含む)で受診。子宮・乳がん検診は約半数が市町村で受診。



どこで受診していますか

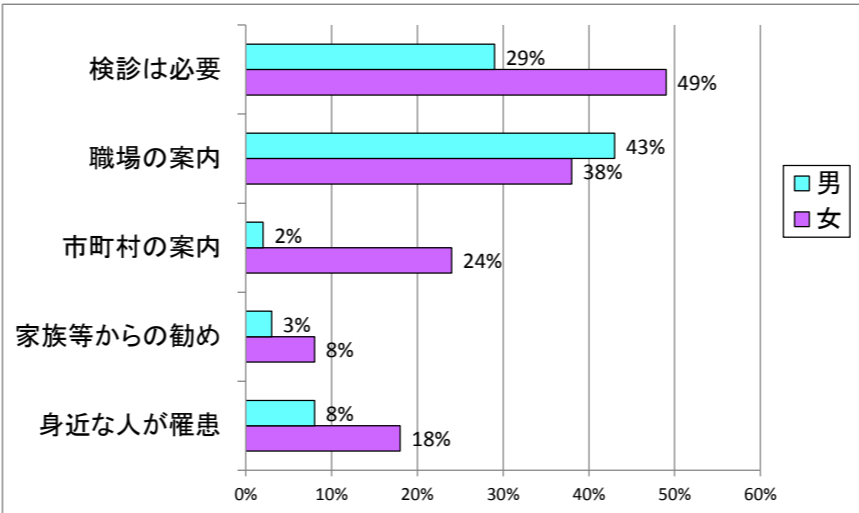


④雇用形態別の受診率は、正社員に比べパート・アルバイトが低い。

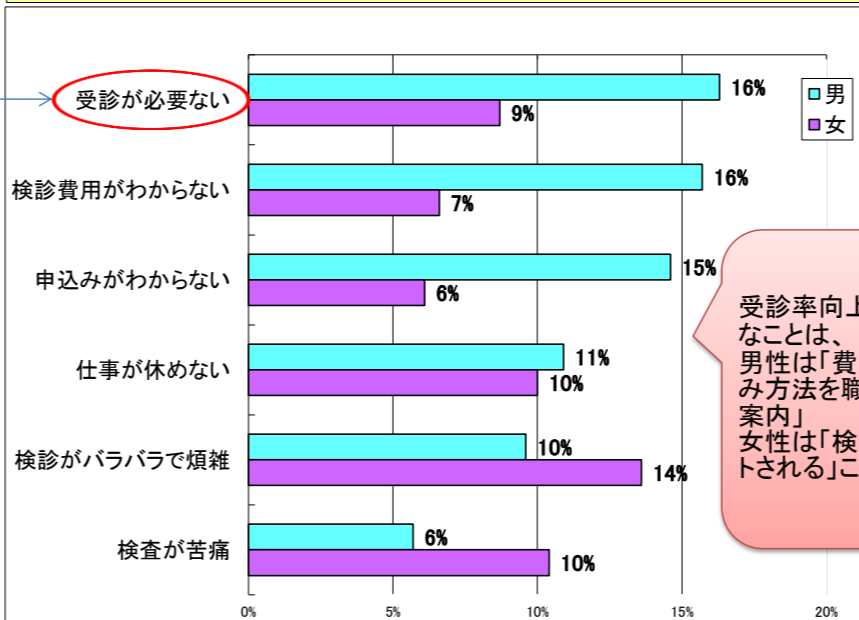


特に非正規従業員には、市町村で受診できることの情報提供が必要

⑤受診理由は、男性は「職場の案内」女性「検診は必要」が最も多い。

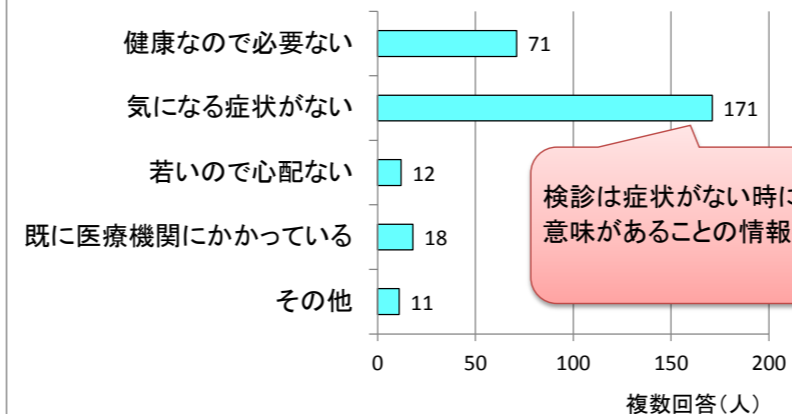


⑥未受診理由は、男性は「受診が必要ない」「検診費用・申込みがわからない」、女性は「検診がバラバラで煩雑」「検診が苦痛」が多い。



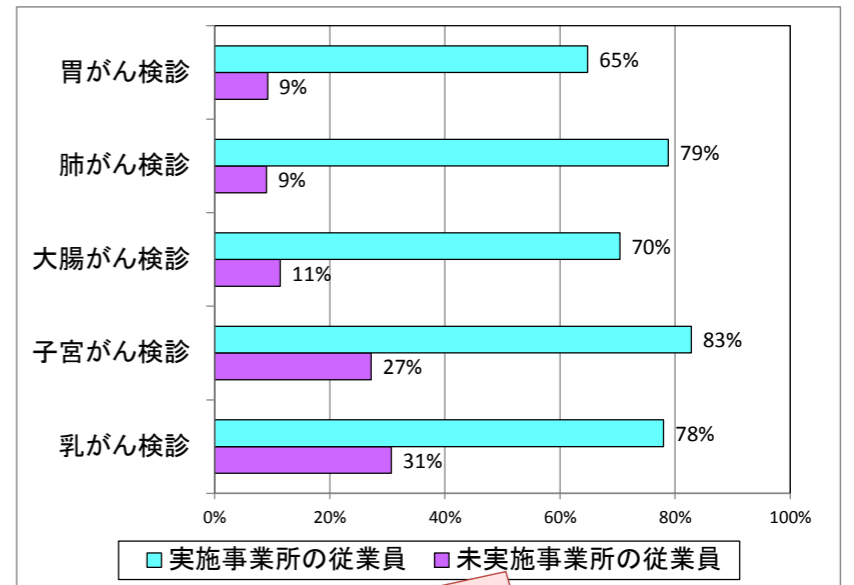
受診率向上に必要なことは、男性は「費用・申込み方法を職場から案内」、女性は「検診がセットされる」こと

受診が必要ないと回答した方の理由 (男女計)



検診は症状がない時にこそ受ける意味があることの情報提供が必要

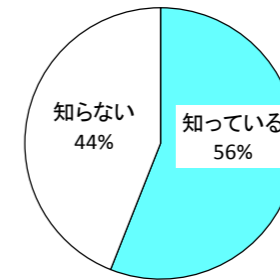
⑦事業所での検診の有無別で受診率を見ると、がん検診が実施されている方が、受診率が高い。



特に、がん検診未実施事業所の従業員には、市町村情報が必要

⑧従業員で市町村がん検診のことを知っている方は半数程度。

市町村では5つのがん検診を実施している



市町村のがん検診について情報提供が必要

市町村のがん検診は40歳以上(子宮がん検診は20歳以上)であれば誰でも受診できる

